

— Driving Value Creation —
**2020年3月期第2四半期
決算説明会資料**



MITSUI & CO.

2019年10月30日
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

1 中期経営計画の進捗状況

2 経営成績の詳細

3 補足資料

4 セグメント別データ

1

中期経営計画の進捗状況

経営成績サマリー

- 金属資源・エネルギー堅調
- 機械・インフラは概ね計画通り進捗、化学品・生活産業・鉄鋼製品では景気減速等による影響あり

(単位：億円)

	2019年3月期 上半期実績	2020年3月期 上半期実績	増減	2020年3月期 事業計画	進捗率
当期/上半期利益	2,229	2,342	+113	4,500	52%
基礎営業キャッシュ・フロー*1	3,164	3,464	+300	6,400	54%
フリー・キャッシュ・フロー*2	552	2,169*3	+1,617	—	—

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー (20/3期上半期: 3,267億円) - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー (20/3期上半期: ▲197億円)

*2. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー

*3. 19/3期より、従来運転資本と認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素 (キャッシュ・イン45億円、キャッシュ・アウト45億円) は除外して計算

通期業績予想： 利益、基礎営業キャッシュ・フロー共に、事業計画据え置き

■ **当期利益 4,500億円、基礎営業キャッシュ・フロー 6,400億円**

追加株主還元： 500億円の自社株買いの実施

重点施策 強固な収益基盤づくりと既存事業の徹底強化

中核分野

【金属資源・エネルギー】 鉄鉱石価格が堅調推移。重油・LNGトレーディング好調、LNG案件を中心に着実な進捗

【機械・インフラ】 自動車関連事業、ガス配給事業、発電事業など着実に収益貢献

【化学品】 基礎化学品を始めとした市況悪化等が影響

当期/上半期利益

	上半期実績	事業計画	進捗率
金属資源・エネルギー	1,675	2,550	66%
機械・インフラ	360	900	40%
化学品	47	300	16%
中核分野 合計	2,082	3,750	56%
全社 合計	2,342	4,500	52%

基礎営業キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	上半期実績	事業計画	進捗率
	2,434	4,000	61%
	414	1,050	39%
	146	500	29%
中核分野 合計	2,994	5,550	54%
全社 合計	3,464	6,400	54%

2020年3月期アクションプランの進捗

■ 環境と健康に関わる事業の基盤強化とその周辺事業の拡大・横展開

環境



- LNGパイプライン案件の着実な立ち上げ
 - モザンビークArea1のFID
 - ロシアArctic LNG 2 のFID
 - 米Cameron生産開始
- 再エネ・次世代電力の取り組み加速
 - 米国・インド他で分散電源等の取り組み拡大

健康



- アジアにおける病院および病院周辺事業の収益基盤強化
 - IHH経営への影響力強化・総合力発揮
 - 中国向けヘルスケアファンド立ち上げ

■ 既存アセットの収益性向上と戦略的リサイクルを通じたポートフォリオの良質化を引き続き推進

- コロンビアアジア（インド事業除く）売却決定
- リクルート株式の一部売却

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

キャッシュ・フロー・アロケーション実績 (2020年3月期上半期)

- 投融資キャッシュ・アウトの縮減に伴い、自社株買いによる追加株主還元を実施

(単位：億円)

		中経2年間 累計実績	2020年3月期 上半期実績	2020年3月期 通期予想 (今回修正)	3年間累計 (2018年3月期～2020年3月期) (今回修正)
キャッシュ・ イン	基礎営業キャッシュ・フロー*1...①	12,400	3,500	6,400*2	18,800*2
	資産リサイクル...②	5,300	900	2,700	8,000
キャッシュ・ アウト	投融資...③	▲14,900	▲2,200	▲5,600	▲20,500
	株主還元...④	▲3,100	▲700	▲1,900	▲5,000
株主還元後のフリー・キャッシュ・フロー*3 ...①+②+③+④		▲300	1,500	1,600*2	1,300*2

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー

*2. IFRS第16号「リース」適用に伴う営業キャッシュ・フローの増加分約500億円を含む

*3. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー
19/3期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算

配分

追加株主還元

有利子負債の返済

追加投資



MITSUI & CO.

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

バランスシート

(単位：兆円)

19/3



非支配持分*1

総資産	11.9兆円
株主資本	4.3兆円
Net DER	0.84倍*1

19/9



非支配持分

総資産	12.1兆円
株主資本	4.2兆円
Net DER	0.82倍*1

主な残高・増減

有利子負債*1 4.6兆円 (19/3末比： +749億円)
 ネット有利子負債*3 3.5兆円 (19/3末比： ▲1,193億円)

株主資本*2 4.2兆円 (19/3末比： ▲518億円)

- ・ 上半期利益： +2,342億円
- ・ 外貨換算調整勘定： ▲1,558億円
- ・ FVTOCIの金融資産： ▲743億円
- ・ 配当金の支払： ▲695億円
- ・ その他： +136億円

*1. 20/3期より、有利子負債は長短債務からリース負債を除外して計算
 尚、これに伴い19/3期末もRestate

*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を株主資本と表記

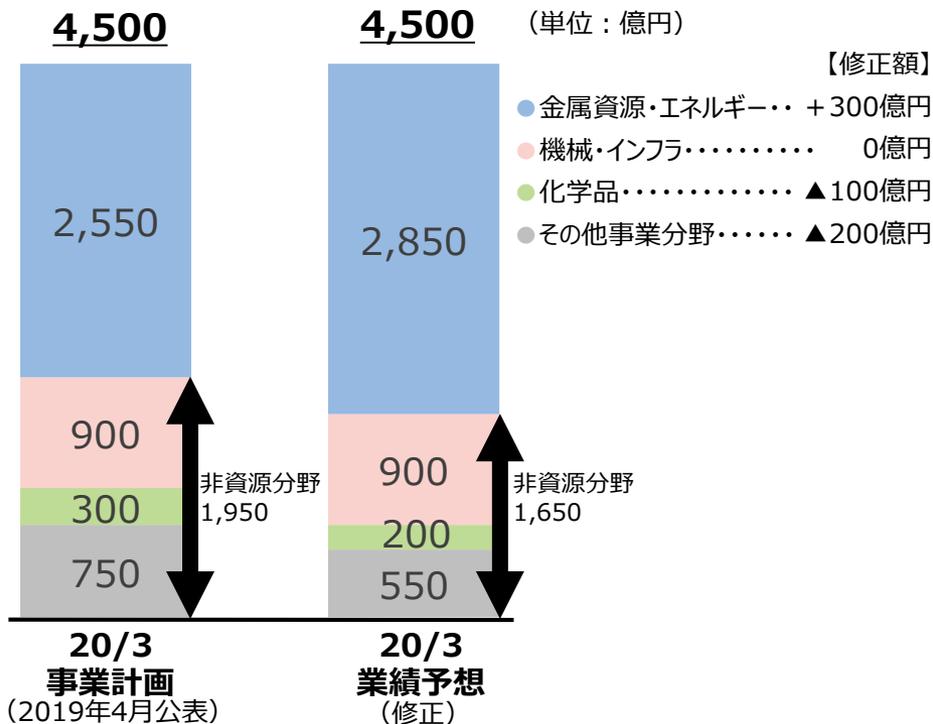
*3. ネット有利子負債は*1.有利子負債から現金・現金同等物並びに定期預金を
 除外して計算



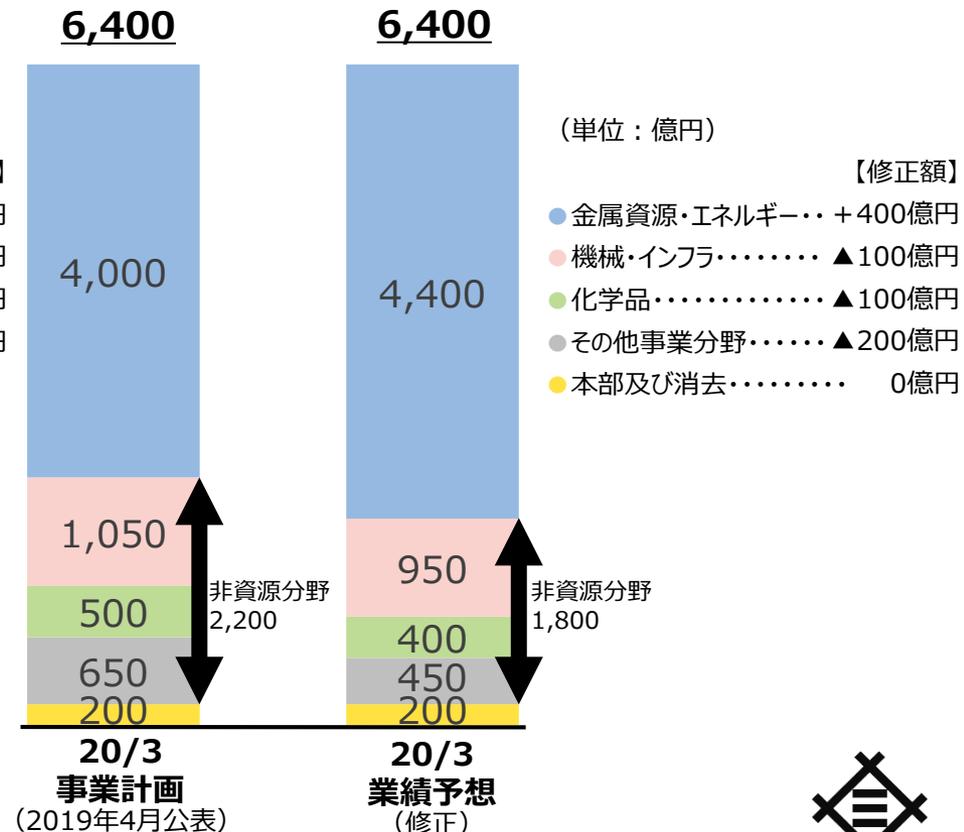
2020年3月期 業績予想（修正）

- 景気減速の影響を受けた化学品・生活産業・鉄鋼製品を、資源分野での堅調な業績でカバー

【当期利益】



【基礎営業キャッシュ・フロー】

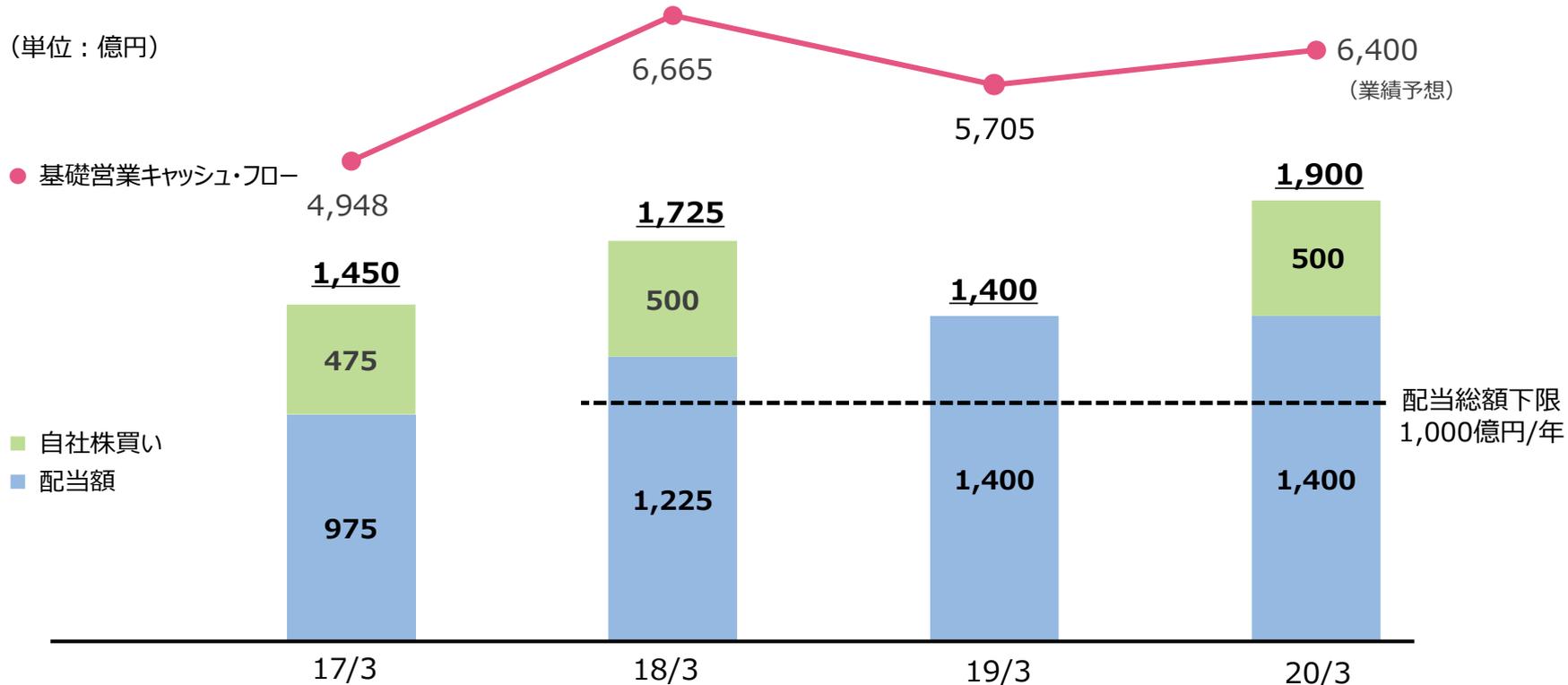


株主還元方針

追加株主還元として自社株買いを実施、本年度株主還元総額は1,900億円を予定

- 取得総額500億円の自社株買い
- 年間配当金予定は一株当たり80円（事業計画から変更なし）、中間配当金は一株当たり40円
- 現中経3年間における株主還元総額は5,000億円の見通し

(単位：億円)



■ 自社株買い
■ 配当額

配当総額下限
1,000億円/年

17/3

55円

29%
(47%)

18/3

70円

26%
(41%)

19/3

80円

24%
(34%)

20/3

80円(予定)

30%(予定)
(42%)(予定)

年間配当額/株

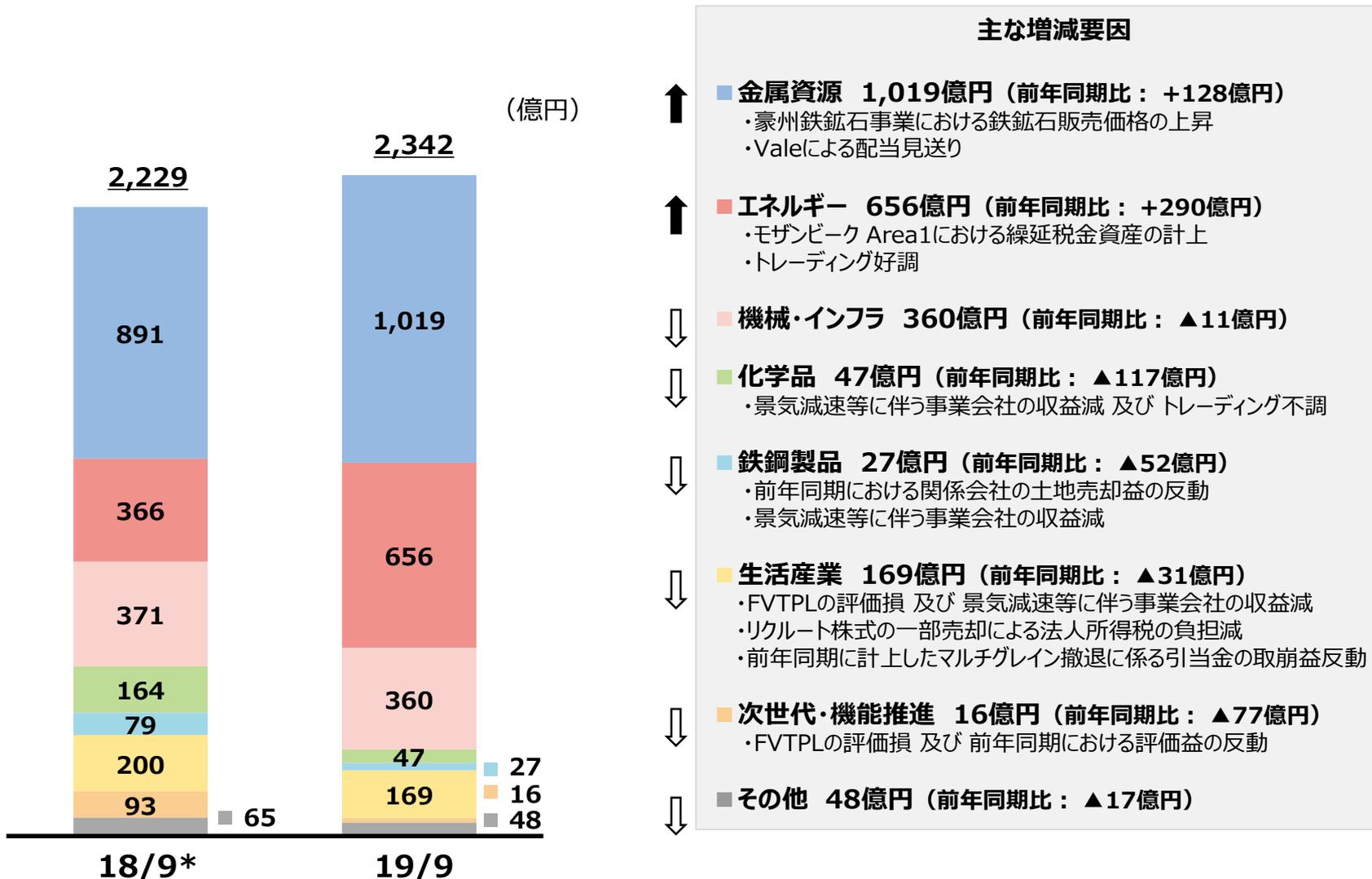
基礎営業キャッシュ・フローに対する
総還元性向*
(当期利益に対する総還元性向**)



2 経営成績の詳細

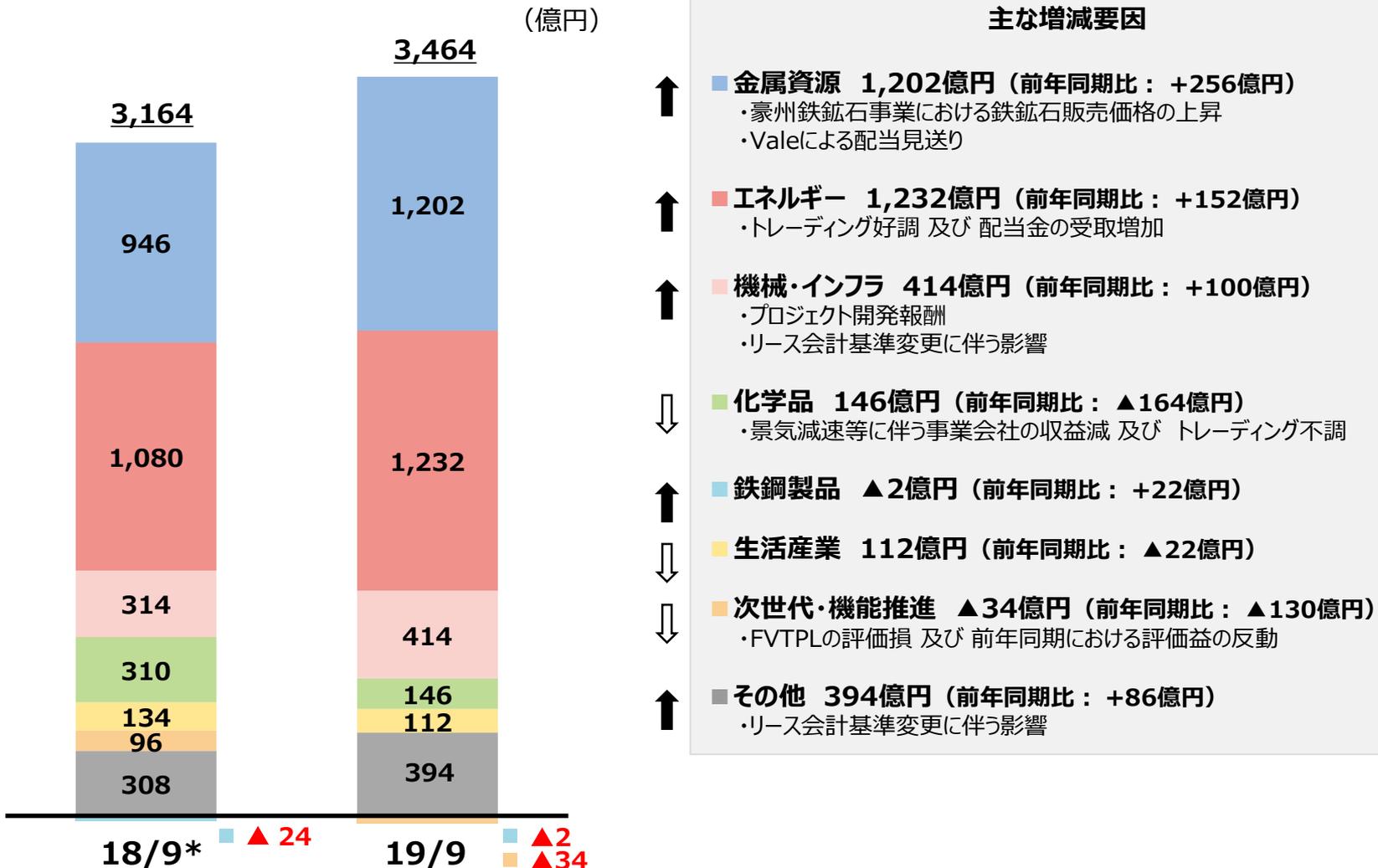
上半期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 上半期利益 2,342億円、前年同期比 +113億円



基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

■ 基礎営業キャッシュ・フロー 3,464億円、前年同期比 +300億円



主な増減要因

- **金属資源 1,202億円 (前年同期比: +256億円)**
 - ・豪州鉄鉱石事業における鉄鉱石販売価格の上昇
 - ・Valeによる配当見送り
- **エネルギー 1,232億円 (前年同期比: +152億円)**
 - ・トレーディング好調 及び 配当金の受取増加
- **機械・インフラ 414億円 (前年同期比: +100億円)**
 - ・プロジェクト開発報酬
 - ・リース会計基準変更に伴う影響
- **化学品 146億円 (前年同期比: ▲164億円)**
 - ・景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調
- **鉄鋼製品 ▲2億円 (前年同期比: +22億円)**
- **生活産業 112億円 (前年同期比: ▲22億円)**
- **次世代・機能推進 ▲34億円 (前年同期比: ▲130億円)**
 - ・FVTPLの評価損 及び 前年同期における評価益の反動
- **その他 394億円 (前年同期比: +86億円)**
 - ・リース会計基準変更に伴う影響

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

資産リサイクル・投融資実績*1（2020年3月期上半期）

- 資産リサイクルは着実に進展
- 投融資は中核分野に73%、成長分野に27%を配分

	金額	主な案件*3
資産リサイクル*2	900億円	【生活産業】リクルート株式の一部売却
投融資*2	▲2,200億円	主な案件*3
中核分野 (含む成長分野との重複100億円)	▲1,600億円	【金属資源】豪州鉄鉱石・石炭事業 【エネルギー】 ロシアArctic LNG2への出資 、豪州石油開発 【機械・インフラ】中東IPP事業向け融資
成長分野 (含む中核分野との重複100億円)	▲600億円	【生活産業】ベトナム海老生産加工事業会社への出資
その他	▲100億円	小口集積

*1. 19/3期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算

*2. 定期預金の増減は除く

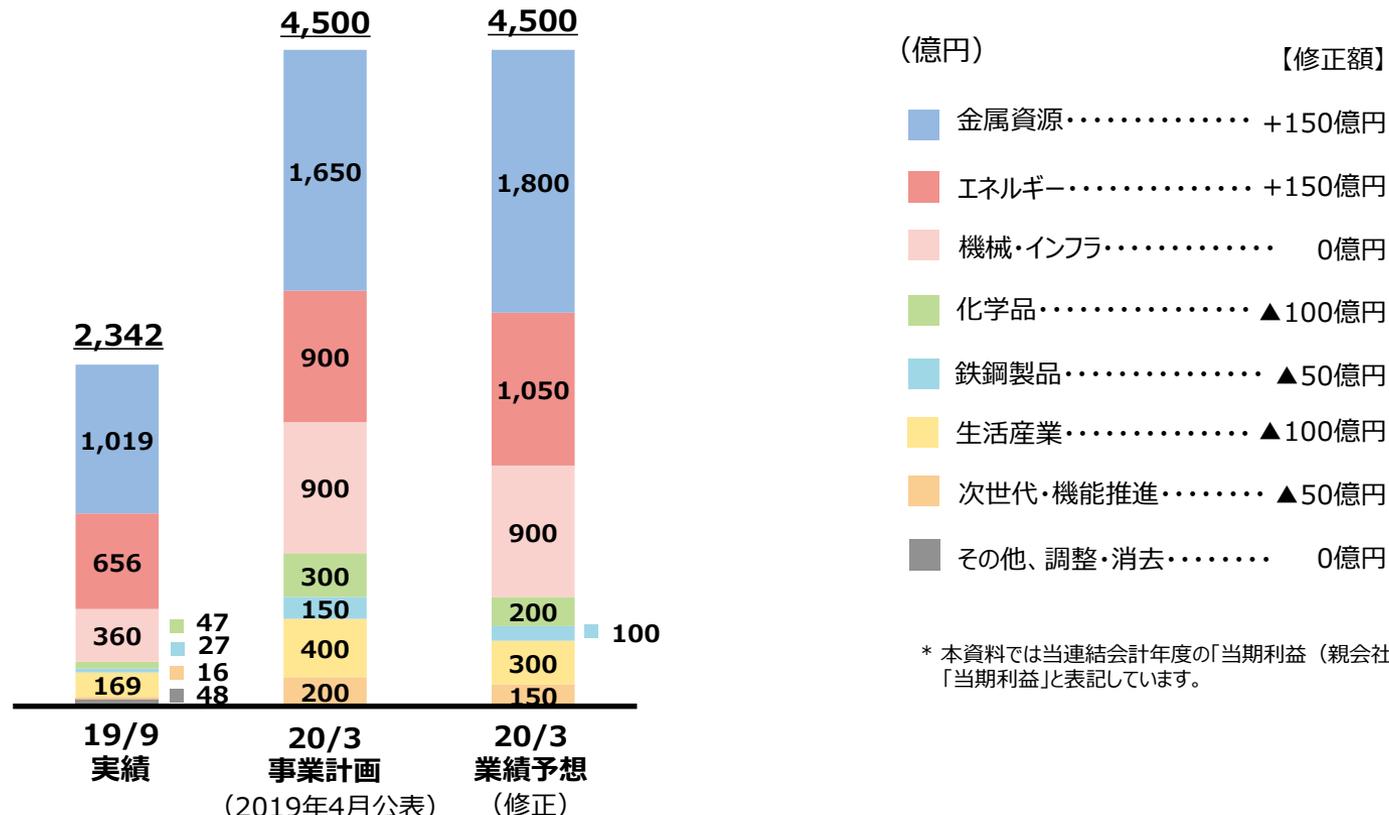
*3. [青字は、第2四半期に新たに資産リサイクルにより資金獲得、または投融資を実行した案件](#)
各案件の金額については4.セグメント別データをご参照ください

2020年3月期 業績予想（修正）

当期利益*：4,500億円（事業計画据え置き）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

- 金属資源 : +150億円 鉄鉱石価格が堅調推移
- エネルギー : +150億円 石油・ガス開発事業での数量増加 及び トレーディング好調
- 化学品 : ▲100億円 景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調
- 生活産業 : ▲100億円 景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調

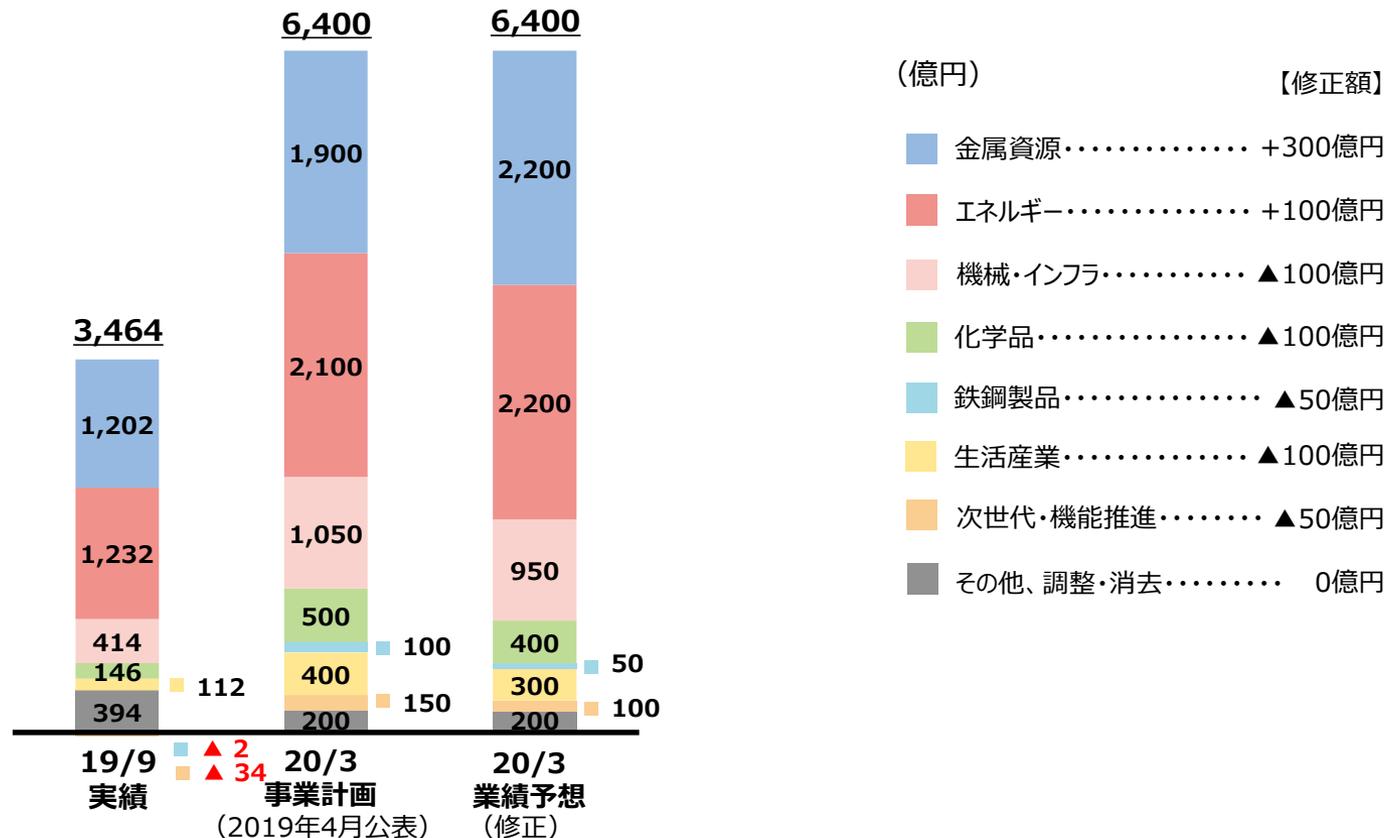


2020年3月期 業績予想（修正）

基礎営業キャッシュ・フロー：6,400億円（事業計画据え置き）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

■ 金属資源	: +300億円	鉄鉱石価格が堅調推移
■ エネルギー	: +100億円	トレーディング好調
■ 機械・インフラ	: ▲100億円	小口一過性損失の集積
■ 化学品	: ▲100億円	景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調
■ 生活産業	: ▲100億円	景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調



3 補足資料

前提条件および感応度

価格変動の20/3期当期利益 への影響額 (2019年4月公表)			20/3事業計画 (2019年4月公表)	20/3上半期 (実績)	20/3下半期 (前提)	20/3通期予想 (上・下平均値)	
市況商品	原油/JCC	—	67	69	66	68	
	連結油価(*1)	31億円 (US\$1/バレル)	67	69	67	68	
	米国ガス(*2)	7億円 (US\$0.1/mmBtu)	3.00(*3)	2.69(*4)	2.67(*3)	2.68	
	鉄鉱石(*5)	21億円 (US\$1/トン)	(*6)	101(*7)	(*6)	(*6)	
	石炭	原料炭	5億円 (US\$1/トン)	(*6)	193(*8)	(*6)	(*6)
		一般炭	1億円 (US\$1/トン)	(*6)	95(*8)	(*6)	(*6)
	銅(*9)	7億円 (US\$100/トン)	6,600	6,167(*10)	5,600	5,884	
為替(*11)	米ドル	27億円 (¥1/米ドル)	110.00	108.67	106.00	107.34	
	豪ドル	19億円 (¥1/豪ドル)	77.00	74.75	72.00	73.37	
	伯リアル	3億円 (¥1/伯リアル)	28.00	27.35	27.00	27.18	

(*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。

20/3期には約50%が4～6ヶ月遅れで、約40%が1～3ヶ月遅れで、約10%が遅れ無しで反映されると想定される。上記感応度は、連結油価に対する年間インパクト。

(*2) 当社が米国で取り扱う天然ガスはその多くがHenry Hub (HH) に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対するものではなく、加重平均ガス販売価格に対するインパクト。

(*3) HH連動の販売価格は、20/3期事業計画欄にはHH価格US\$3.00/mmBtu、20/3期下半期前提欄にはHH価格US\$2.67/mmBtuを前提として使用している。

(*4) 米国ガスの20/3期上半期実績欄には、2019年1月～6月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。

(*5) Valeからの受取配当金に対する影響は含まない。

(*6) 鉄鉱石・石炭の前提価格は非開示。

(*7) 鉄鉱石の20/3期上半期実績欄には、2019年4月～9月の複数業界界によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値(参考値)を記載。

(*8) 石炭の20/3期上半期実績欄には、対日代表銘柄石炭価格(US\$/MT)の四半期価格の平均値を記載。

(*9) 銅価格は3ヶ月遅れで当社連結業績に反映される為、上記感応度は2019年3月～12月のLME cash settlement price平均価格がUS\$100/トン変動した場合に対するインパクト。

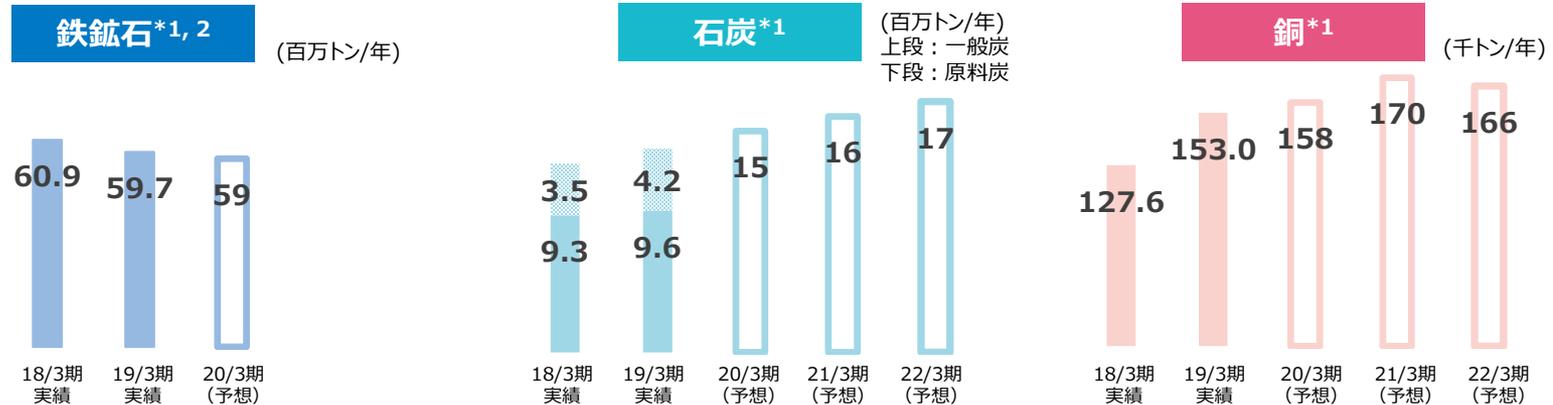
(*10) 銅の20/3期上半期実績欄には、2019年1月～6月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。

(*11) 上記感応度は、各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対するインパクト。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。



金属資源：持分権益生産量および生産量実績

持分権益生産量 (2019年4月公表)



*1. Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2Q以降:5.5%, 2019/3 4Q以降:5.6%)等を含む。

*2. Valeの事故により21/3期以降の見通し開示は当面見合わせ

生産量実績

	2019年3月期					2020年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	累計
鉄鉱石 (百万トン)	14.8	15.3	15.8	13.8	59.7	14.1	14.4	28.5
豪州鉄鉱石	10.3	10.0	10.0	8.2	38.5	10.0	10.8	20.8
Vale*1	4.5	5.3	5.8	5.6	21.2	4.1	3.6	7.7
石炭*2 (百万トン)	3.1	3.5	3.7	3.5	13.8	3.3	3.4	6.7
MCH	2.1	2.1	2.1	2.0	8.3	2.1	2.1	4.2
BMC*1	0.5	0.6	0.5	0.5	2.1	0.5	0.6	1.1
豪州原料炭	2.0	2.0	2.0*4	1.9	7.9	2.4	2.3	4.7
豪州一般炭	0.6	0.7	0.6*4	0.6	2.5	0.2	0.4	0.6
Moatize*1	0.3	0.4	0.5	0.4	1.6	0.3	0.3	0.6
銅*1, 2 (千トン)	36.5*3	35.8	38.3	42.4	153.0	36.3	38.0	74.3

*1. Vale、BMC、Moatize及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

*2. Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2Q以降:5.5%, 2019/3 4Q以降:5.6%)等を含む

*3. 2018年10月修正(1Q:36.0→36.5)

*4. 2019年4月修正(3Q:1.9→2.0, 0.7→0.6)

金属資源：主な事業一覧

商品	案件名*1	所在国	2019年3月期 持分生産量	主なパートナー	当社出資比率*4	当社収益認識
鉄鉱石	Robe River	豪州	19.4百万ト	Rio Tinto	33.00%	連結(一部持分法)
鉄鉱石	Mt. Newman / Yandi / Goldsworthy / Jimblebar	豪州	19.1百万ト	BHP	7.00%	連結(一部配当)
鉄鉱石	Vale	伯国	21.2百万ト*2	Vale	5.59%	配当
石炭	South Walker Creek / Poitrel	豪州	2.1百万ト*2	BHP	20.00%	持分法
石炭	Kestrel	豪州	1.0百万ト*2	EMR / Adaro	20.00%	連結
石炭	Moranbah North / Capcoal / Dawson	豪州	6.2百万ト	Anglo American	Various	連結
石炭	Moatize / Nacala	モザンビーク	1.6百万ト*2	Vale	Moatize : 約15% Nacala : 約50%	Moatize : 配当 Nacala : 持分法
銅	Collahuasi	チリ	61.7千ト*2	Anglo American Glencore	11.03%	持分法
銅	Anglo American Sur	チリ	38.7千ト*2	Anglo American Codelco	9.50%	持分法
銅	Caserones	チリ	30.8千ト*2	JX金属 三井金属	22.63%	その他
ニッケル	Coral Bay	フィリピン	3.6千ト*3	住友金属鉱山	18.00%	持分法
ニッケル	Taganito	フィリピン	4.5千ト*3	住友金属鉱山	15.00%	配当

*1. JV名、企業名、プロジェクト外名を含む

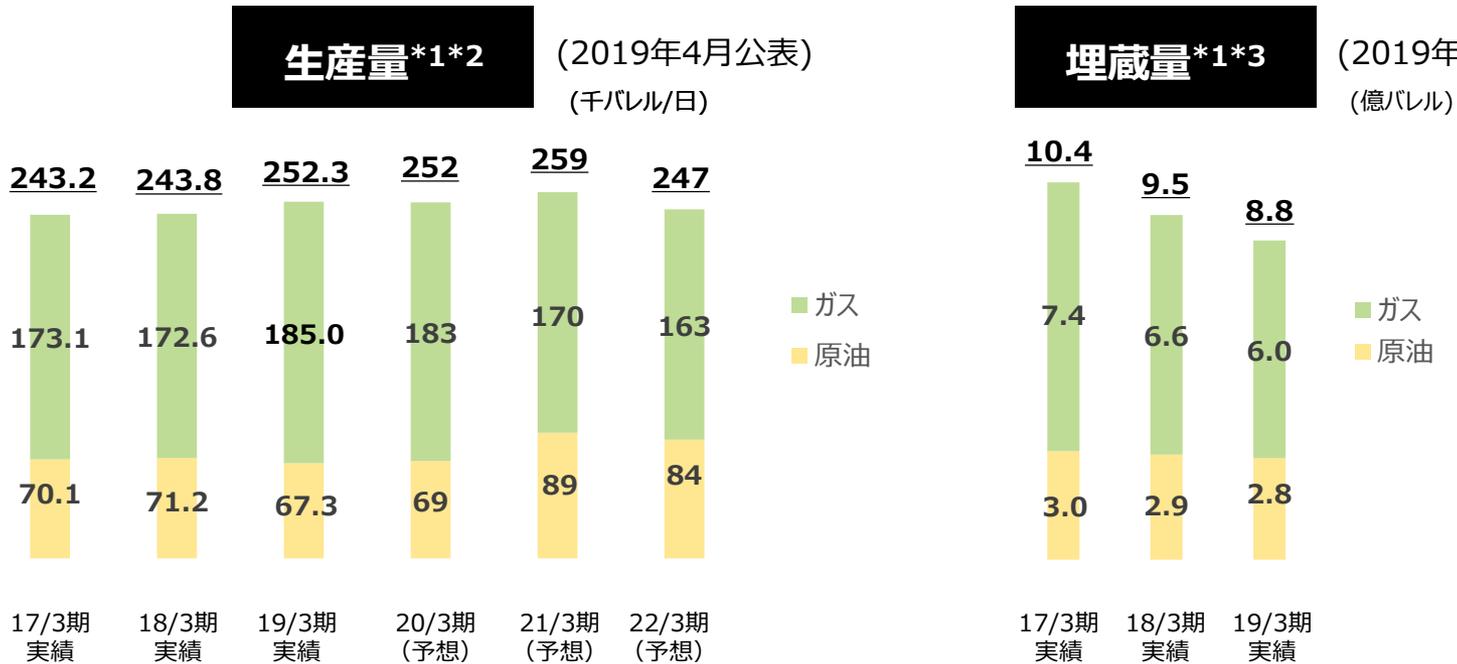
*2. 2018年1-12月の実績

*3. 生産能力ベース

*4. 2019年3月末時点



エネルギー：原油・ガス持分権益生産量および埋蔵量



*1. 石油換算
当社連結子会社・関係会社・非連結先の当社権益保有見合い

*2. 一部プロジェクトでは当社持分販売量を適用

*3. 当社独自の基準による

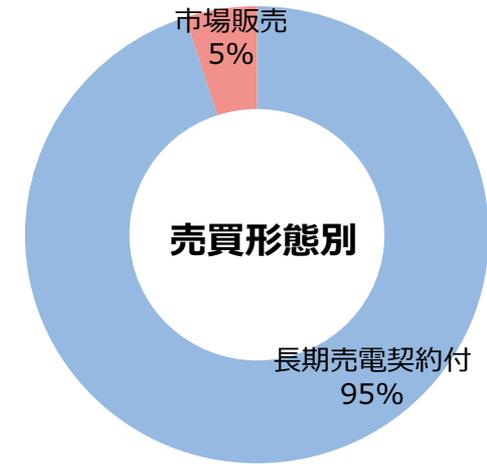
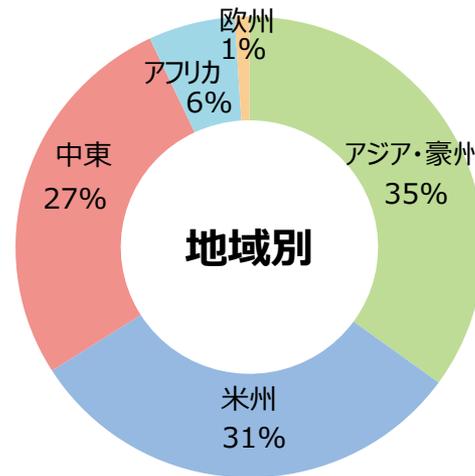
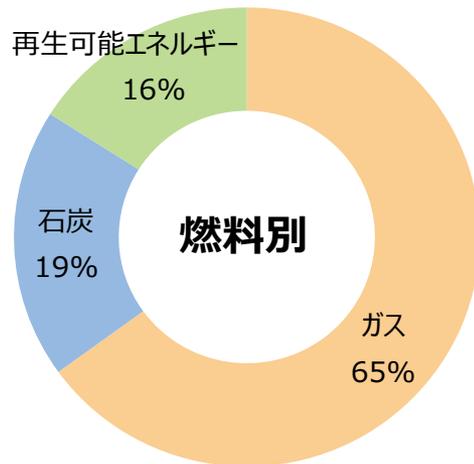
エネルギー：主な事業一覧（生産中アセットのみ）

商品	プロジェクト名	株主構成/権益保有者 *: オペレーター、青：当社参画Entity	LNG:生産能力 E&P:生産実績(19/3期実績)	決算期	当社 収益認識
LNG	アブダビ	*ADNOC(70%), 三井物産(15%), BP(10%), Total(5%)	LNG:560万トン/年	NA	受取配当金
LNG	カタールガス1	*QP(65%), Total(10%), EM(10%), MILNED(7.5%), 丸紅(7.5%)	LNG:960万トン/年	3月	受取配当金
LNG	カタールガス3	*QP(68.5%), Conoco Phillips(30%), 三井物産(1.5%)	LNG:780万トン/年	3月	受取配当金
LNG	オマーン	*MOG(51%), Shell(30%), 三井物産(2.77%), 他	LNG:710万トン/年	NA	受取配当金
LNG	赤道ギニア	*Marathon(60%), Sonagas(25%), 三井物産(8.5%), 丸紅(6.5%)	LNG:370万トン/年	NA	受取配当金
LNG	サハリンII	*Gazprom(50%+1株), Shell(27.5%-1株), 三井物産(12.5%), 三菱商事(10%)	LNG:960万トン/年	12月	受取配当金
LNG	North West Shelf (NWS)	*Woodside, MIMI [三井物産/三菱商事=50:50], Shell, BP, BHP, Chevron(各16.7%)	LNG:1,690万トン/年 LPG:46万トン/年 原油/コンテナ:97千BD	12月	持分法損益
LNG	タンガー	*BP(40.2%), KI Berau[三菱商事/INPEX=56:44](16.3%), KG Berau [JOGMEC/三井物産/三菱商事/INPEX/JX=49.2:20.1:16.5:14.2](8.6%), KG Wiriagar[三井物産](1.4%), 他	LNG:760万トン/年 原油/コンテナ:6千BD	12月	持分法損益/ 売上総利益
LNG	キヤロン	*Sempra(50.2%), 三井物産, Total, [三菱商事/NYK](各16.6%)	LNG:1,200万トン/年	12月	持分法損益
E&P	MOECO/タイ沖	*Chevron, *PTTEP, MOECO(17.2%)	ガス/原油/コンテナ:452千BD	3月	売上総利益/持分法 損益/受取配当金
E&P	MOEX North America/Kaikias	*Shell(80%), MOEX NA(20%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block9	*Occidental(50%), OCEP(45%), MEPME(5%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block27	*Occidental(65%), MEPME(35%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPME/Block3&4	*CCED(50%), Tethys(30%), MEPME(20%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPUK/Alba	*Chevron(23.4%), MEPUK(13.3%), 他	原油:12千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Greater Enfield	*Woodside(60%), MEPAU(40%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Kipper	*EM(32.5%), BHP(32.5%), MEPAU(35%)	NA	12月	売上総利益
E&P	MEPAU&AWE/Casino, Henry, Netherby	*Cooper(50%), AWE(25%), MEPAU(25%)	ガス/コンテナ:9千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPAU/Meridian	*WestSide(51%), MEPAU(49%)	ガス:6千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPTX/Eagle Ford	*Sanchez(25%), Blackstone(25%), KNOC(25%), Venado(12.5%), MEPTX(12.5%)	ガス/コンテナ/NGL:130千BD	12月	売上総利益
E&P	MEPUSA/Marcellus	*Chesapeake(32.5%), ALTA(32.5%), Equinor(15.5%), MEPUSA(12%), 他	ガス:343千BD	12月	売上総利益

機械・インフラ：発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量（ネット）：**10.5GW**
（グロス容量：38GW）

2019年9月末現在



4 セグメント別データ

金属資源

鉄鉱石価格の堅調推移を主因に、PAT・CF共に上方修正

(単位：億円)

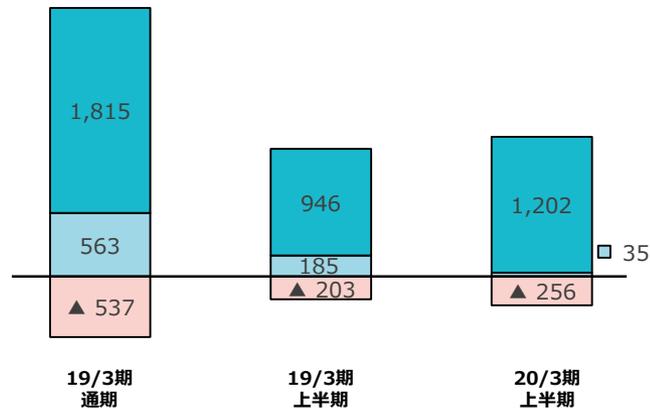
業績	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	20/3期 修正通期予想	進捗率*2	20/3期 事業計画	主な増減理由
上半期利益	891	1,019	+128	1,800	57%	1,650	
売上総利益	906	1,248	+342				↑豪鉄鉱石（販売価格上昇）
持分法損益	297	327	+30				↑豪鉄鉱石（販売価格上昇）
受取配当金	149	50	▲99				↓Valeによる配当見送り
販管費	▲166	▲162	+4				
その他	▲295	▲444	▲149				↓豪鉄鉱石（法人税負担増）
基礎営業キャッシュ・フロー	946	1,202	+256	2,200	55%	1,900	↑豪鉄鉱石（販売価格上昇） ↓Valeによる配当見送り
総資産	22,229*1	21,349	▲880				

*1. 2019年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

■ 基礎営業CF
■ 投資CF(IN)
■ 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件
20/3期上半期：(OUT)豪州鉄鉱石事業▲170

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	19/3期 通期
連結	豪州鉄鉱石事業*3	502	881	+379	1,067
	豪州石炭事業*3	247	195	▲52	485
持分法	モザンビーク石炭及び 鉄道・港湾インフラ事業	9	4	▲5	41
	Oriente Copper Netherlands	▲1	▲12	▲11	▲27
	三井物産カッパー・インベストメント	▲19	▲4	+15	▲23
	Japan Collahuasi Resources	43	32	▲11	91
	オールドス電力冶金	25	27	+2	51

*3. 一部損益は持分法により取込

エネルギー

石油・ガス開発事業での数量増加 及び トレーディング好調を主因に、PAT上方修正
 トレーディング好調を主因に、CF上方修正

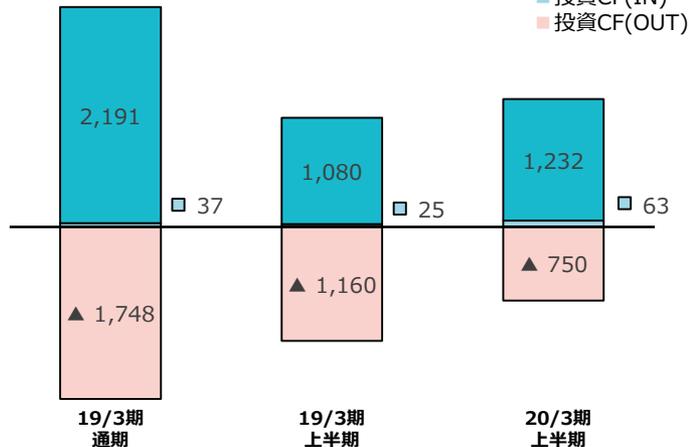
(単位：億円)

業績	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	20/3期 修正通期予想	進捗率*2	20/3期 事業計画	主な増減理由
上半期利益	366	656	+290	1,050	62%	900	
売上総利益	711	754	+43				↑トレーディング好調
持分法損益	160	260	+100				↑MEPMOZ繰延税金資産計上
受取配当金	230	259	+29				
販管費	▲238	▲225	+13				
その他	▲497	▲392	+105				
基礎営業キャッシュ・フロー	1,080	1,232	+152	2,200	56%	2,100	↑トレーディング好調 及び 配当金の受取増加
総資産	24,254*1	25,512	+1,258				

*1. 2019年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融资/リサイクル案件
 20/3期上半期：(OUT)ロシアArctic LNG2
 豪州石油開発

主要関係会社業績 (当社持分)

	会社名	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	19/3期 通期
連結	三井石油開発*3	98	150	+52	248
	Mitsui E&P Australia	▲2	▲13	▲11	▲3
	AWE	▲15	▲24	▲9	▲37
	Mitsui E&P Middle East	31	29	▲2	65
	Mitsui E&P USA	46	38	▲8	82
	MEP Texas Holdings	41	21	▲20	▲30
	Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	17	54	+37	8
	持分法	Mitsui E&P Mozambique Area 1	▲10	113	+123
Japan Australia LNG (MIMI)*4		-	-	-	-

*3. 一部損益は持分法により取込 *4. 守秘義務契約により業績非開示

機械・インフラ

小口の一過性損失の集積の影響でCFを下方修正

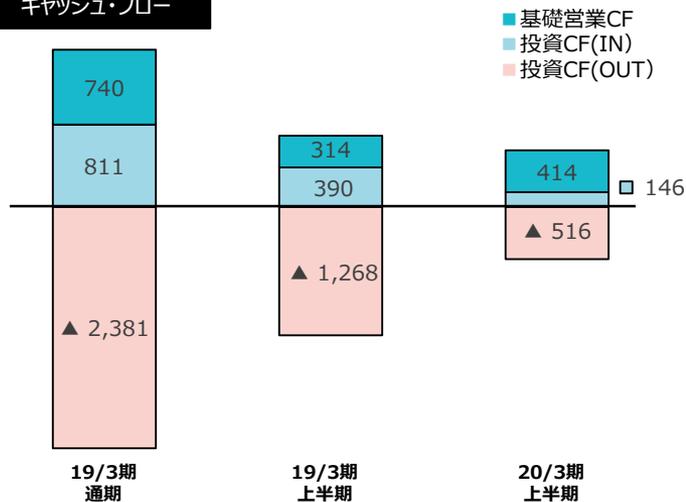
(単位：億円)

業績	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	20/3期 修正通期予想	進捗率*2	20/3期 事業計画	主な増減理由
上半期利益	371	360	▲11	900	40%	900	
売上総利益	626	636	+10				
持分法損益	436	468	+32				
受取配当金	30	30	0				
販管費	▲626	▲642	▲16				
その他	▲95	▲132	▲37				
基礎営業キャッシュ・フロー	314	414	+100	950	44%	1,050	↑プロジェクト開発報酬 ↑リース会計基準変更に伴う影響
総資産	24,506*1	24,636	+130				

*1. 2019年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
20/3期上半期：(OUT)中東IPP事業向け融資 ▲143

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	19/3期 通期
連結	三井物産プラントシステム	11	6	▲5	26
	鉄道車輛リース事業会社*3	16	11	▲5	33
	産機・建機関連事業*3	26	12	▲14	71
持分法	IPP事業関連会社	127	130	+3	251
	FPSO/FSOリース事業関連会社	34	17	▲17	93
	ガス配給事業	30	61	+31	65
	Penske Automotive Group	42	38	▲4	82
	トラックリース・レンタル事業会社	21	39	+18	71
	アジア自動車（製造・卸売）関連事業	33	33	0	72
	VLI	6	▲4	▲10	27

*3. 一部損益は持分法により取込

化学品

景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調により、
PAT・CF共に下方修正

(単位：億円)

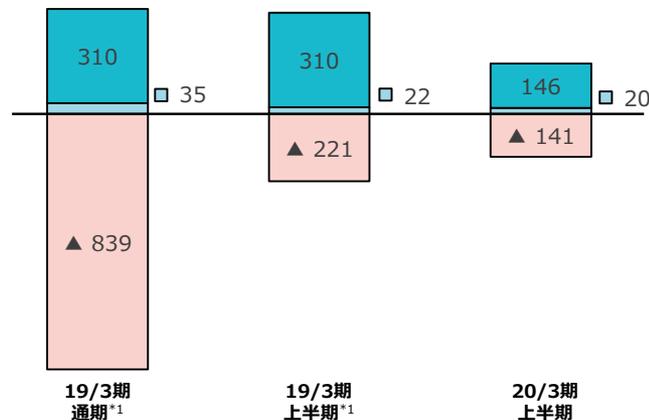
業績	19/3期 上半期*1	20/3期 上半期	増減	20/3期 修正通期予想	進捗率*3	20/3期 事業計画	増減理由
上半期利益	164	47	▲117	200	24%	300	
売上総利益	744	610	▲134				↓景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び ↓トレーディング不調
持分法損益	80	68	▲12				
受取配当金	17	16	▲1				
販管費	▲531	▲522	+9				
その他	▲146	▲125	+21				
基礎営業キャッシュ・フロー	310	146	▲164	400	37%	500	↓景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び ↓トレーディング不調
総資産	13,377*2	12,468	▲909				

*1. 機構改組に伴う組み換え反映後 *2. 2019年3月末

*3. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件
20/3期上半期：-

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	19/3期 通期
連結	MMTX	43	25	▲18	72
	三井物産プラスチック	19	18	▲1	38
	Novus International	▲10	▲21	▲11	▲93
	Mitsui AgriScience(欧米)	8	13	+5	13
持分法	日本アラビアメタノール	18	10	▲8	28

鉄鋼製品

景気減速等に伴う事業会社の収益減により、PAT・CF共に下方修正

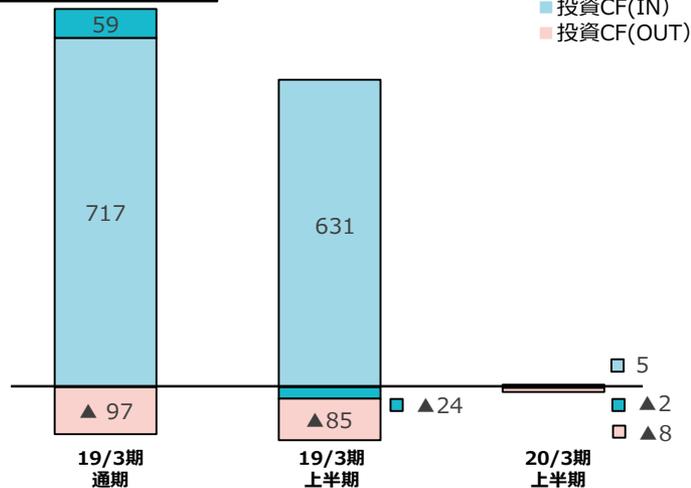
(単位：億円)

業績	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	20/3期 修正通期予想	進捗率*2	20/3期 事業計画	増減理由
上半期利益	79	27	▲52	100	27%	150	
売上総利益	138	126	▲12				
持分法損益	115	65	▲50				↓景気減速等に伴う事業会社の収益減
受取配当金	11	11	0				
販管費	▲150	▲136	+14				
その他	▲35	▲39	▲4				↓前年同期における関係会社の土地売却益の反動
基礎営業キャッシュ・フロー	▲24	▲2	+22	50	0%	100	
総資産	6,066*1	5,562	▲504				

*1. 2019年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融资/サイクル案件
20/3期上半期：-

主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	19/3期 通期
連結	三井物産スチール	23	21	▲2	41
持分法	日鉄物産*3	46	-	-	69
	Game Changer Holdings	23	7	▲16	39
	Gestamp事業会社	17	14	▲3	23

*3. 上場会社の決算発表前により業績非開示

生活産業

景気減速等に伴う事業会社の収益減 及び トレーディング不調により、
PAT・CF共に下方修正

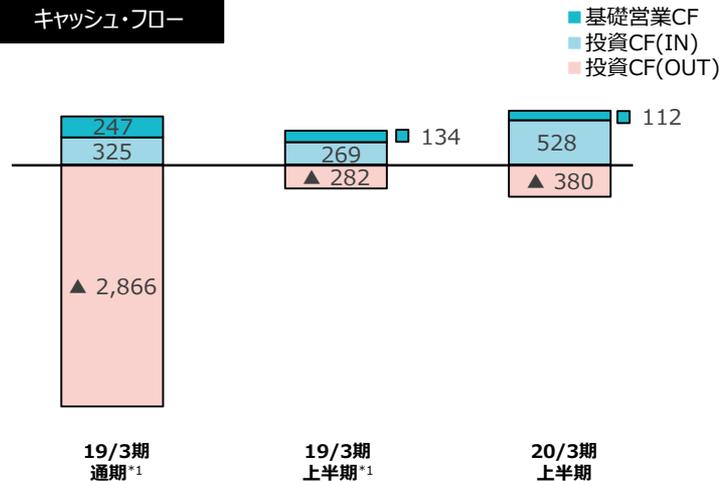
(単位：億円)

業績	19/3期 上半期*1	20/3期 上半期	増減	20/3期 修正通期予想	進捗率*3	20/3期 事業計画	増減理由
上半期利益	200	169	▲31	300	56%	400	
売上総利益	685	672	▲13				
持分法損益	112	103	▲9				
受取配当金	20	24	+4				
販管費	▲661	▲730	▲69				
その他	44	100	+56				↑リクルート株式の一部売却による法人所得税の負担減 ↓前年同期に計上したマルチグレイン撤退に係る引当金の取崩益反動
基礎営業キャッシュ・フロー	134	112	▲22	300	37%	400	
総資産	20,061*2	20,381	+320				

*1. 機構改組に伴う組み換え反映後 *2. 2019年3月末

*3. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	19/3期 通期
連結	三井農林	3	5	+2	6
	国内流通関連事業会社	22	18	▲4	53
持分法	三井製糖*4	11	-	-	21
	WILSEY FOODS	18	22	+4	33
	IHH Healthcare Berhad	8	16	+8	19
	PHCホールディングス*4	-	-	-	-
	エームサービス	14	15	+1	24

*4. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

主な投融资/リサイクル案件
20/3期上半期：(IN)リクルート株式一部売却+448
(OUT)バトナム海老生産加工事業会社への出資▲169

次世代・機能推進

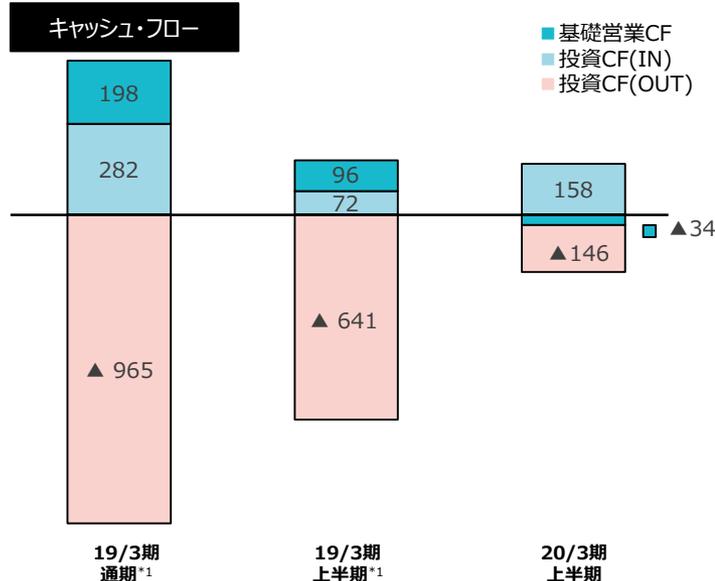
FVTPLにおける評価損を主因に、PAT・CF共に下方修正

(単位：億円)

業績	19/3期 上半期*1	20/3期 上半期	増減	20/3期 修正通期予想	進捗率*3	20/3期 事業計画	増減理由
上半期利益	93	16	▲77	150	11%	200	
売上総利益	418	234	▲184				↓FVTPLの評価損 及び 前年同期における評価益の反動
持分法損益	58	71	+13				
受取配当金	27	26	▲1				
販管費	▲320	▲323	▲3				
その他	▲90	8	+98				↑保有株式のプットオプションに関するデリバティブ評価益
基礎営業キャッシュ・フロー	96	▲34	▲130	100	0%	150	↓FVTPLの評価損 及び 前年同期における評価益の反動
総資産	9,718*2	10,252	+534				

*1. 機構改組に伴う組み換え反映後 *2. 2019年3月末

*3. 修正通期予想に対する進捗率



主要関係会社業績（当社持分）

	会社名	19/3期 上半期	20/3期 上半期	増減	19/3期 通期
連結	三井情報	9	17	+8	35
	三井物産グローバルロジスティクス	15	20	+5	23
	Mitsui Bussan Commodities	11	4	▲7	29
	三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	7	13	+6	19
	三井物産都市開発	7	7	0	26
持分法	QVC ジャパン*4	-	-	-	53
	JA三井リース	15	15	0	38
	SABRE INVESTMENTS*4	-	-	-	-

*4. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

主な投融資/リサイクル案件
20/3期上半期：-

三井物産インベスターデー2020 開催のお知らせ

2021年3月期から始まる次期中期経営計画を中心にお伝えするための機会として、本年に引き続き下記日程にてインベスターデーを開催致します。

日時： 2020年6月9日（火曜日）午後

詳細は追って当社IR部よりご案内致します。

三井物産株式会社
IR部

360° business innovation.



MITSUI & CO.